

## 8組（知的障がい支援学級）生活単元学習指導案

### 1 単元名

リサイクルをしよう ～アルミ缶を車いすにしよう～

### 2 単元設定の理由

#### (1) 生徒について

8組は知的障がいの支援学級である。在籍しているのは男子が各学年1人、女子が2年生に1人である。1年男子は、本人と保護者が普通高校への進学を希望しているため、道徳、学活、総合の他は交流学級で授業を受けている。実技教科は、情緒障がいの支援学級である7組の1年男子が1人加わり、8組の3人と一緒に授業を受けている。10月からはパキスタンからの転校生1名が通級している。

生徒	学年	実態
M君	2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き漏らしを防ぐために繰り返し説明したり、メモを渡したりすると活動できる。</li> <li>・物の数え方がおおざっぱだが、注意して数えれば正確にできる。</li> <li>・指導は素直に受け入れ、何度でもやり直して努力する。</li> <li>・腕力があり、力仕事は自分から積極的に行う。</li> <li>・とても優しく、感動しやすい。</li> <li>・多くの人と積極的にあいさつをし、コミュニケーションがとれる。</li> </ul>
Mさん	2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分でドアに手をはさむなどのけがをしやすい。小さな傷も気になるので、励ましたり、安心させたりすることが必要である。</li> <li>・人前で話すのは苦手としているものの、歌はのびやかに歌うことができる。</li> <li>・形を認識して書き写すことが苦手なので、点と点をつないで書く練習をして自信をつけている。</li> <li>・忘れ物がない。いつもきちんと荷物を整理している。</li> </ul>
D君	3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生の時は普通学級に所属していた。</li> <li>・大勢の中では委縮してしまうので、昨年までは学校のトイレを使用することができなかったが、今年に行くことができるようになった。あいさつ運動をしている人達の前を通るのは、注目されているようで苦手である。</li> <li>・手先が器用で切り紙が得意である。折り紙で小さなツルを折ることができる。</li> <li>・時計の読み方や計算が苦手である。</li> <li>・抽象的な言葉ではなく、具体的な言葉を使うと伝わりやすい。</li> <li>・昨年度に老人ホームでの職場体験の経験がある。</li> </ul>
A君	3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年の2学期にパキスタンから来た。ウルドゥー語を使っていたので日本語も英語もほとんど初めてである。</li> <li>・日本に来たのは父親と二人だけで、他の家族はパキスタンにいる。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イスラム教徒なので、給食ではなく弁当を持参する。礼拝のために個室を用意している。</li> <li>・8月は個別指導のみで過ごした。その後、教室の授業を見学し、少しずつ教室に入るようにした。現在は、3年2組や8組の授業に参加したり、個別の指導を受けたりしている。ひらがなを勉強中である。</li> <li>・すすんで荷物を持つなど協力することができる。</li> </ul>
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## (2) 単元について

本単元は小単元リサイクルをしようの2回目にあたる。8組の3人の生徒は、今までの特別支援学級の先輩がしてきたのと同様に、リサイクル作業や野菜づくりをしてきている。卒業後に支援学校で作業学習をすることになるだろう生徒が多いことを考えて、新しい学校にもなるべくスムーズに適応していけるようにという願いもあり積極的に取り入れている。

牛乳を飲み終わったら洗って乾かし、開いてまとめ、リサイクルステーションに運ぶという牛乳パックのリサイクルは年間を通して全校で行っている。

印刷室の紙をダンボール箱から出してそろえ、その箱をたたみ、シールをはがしてまとめ、リサイクルステーションに運ぶというダンボールのリサイクルは可能なかぎり8組で行っている。

アルミ缶のリサイクルは生徒会活動として昨年度から取り組んできている。今年度は昨年度以上の各学級での取り組みもあり、「車イスを贈ろう」という目標が達成できるくらい集まっている。

生徒A君はまだ慣れていないが、どれも8組の生徒と一緒に作業をしたことがある。

## (3) 指導について

牛乳パックのリサイクルは、昨年度はうまく開けないなどがあったが、技術的な向上がみられ、今年度は開けるようになってきたので、次の効率よく結べることを目指したい。

ダンボールのリサイクルについても、なるべくゆるみがないひもの結び方の定着を目指したい。

アルミ缶のリサイクルについては、生徒会の一員としての自覚を持ち、活動の目標を意識して作業ができるといいと考える。まとめたアルミ缶をリサイクル業社に運んで換金し、それで買った車イスを使う人の姿が想像できるように視覚的な支援をしたい。そしてこれからも活動に協力していく気持ちを育てたい。

## 3 単元の目標

- (1) 安全や衛生に気をつけて作業ができる。(技術・家庭)
- (2) ちょうちょ結びやはちの字結びができる。(技術・家庭)
- (3) 野菜の実のつき方や、花や葉や根の特徴がわかる。(理科)
- (4) アルミ缶とスチール缶の区別ができる。(理科)
- (5) どんな時にどんな単位を使うかがわかる。(数学)
- (6) 正確に数えることができる。(数学)
- (7) 数を、グラフにできる。(数学)
- (8) 1キログラムあたりの単価から、計算ができる。(数学)
- (9) 自分の考えを発表できる。(国語)
- (10) リサイクルの目的がわかる。(社会)

#### 4 指導計画

	小単元	学習活動
4月	リサイクルをしよう①	・牛乳パック、ダンボール、アルミ缶をまとめる。
5月	野菜を植えよう	・どんな野菜を植えるか決め、土づくりをしてから植える。
6月	野菜を育てよう	・苗に水やりをする。支柱を立てる。
7月	野菜を育てて収穫しよう	・わき芽をとりながら水やりをする。
8月	運動会に出よう	・ポンポンづくりをする。メッセージのお礼をする。
9月	野菜を育てて販売しよう	・収穫した野菜を袋詰めして販売する。
10月	文化祭で発表しよう	・野菜づくりやリサイクルについて展示をする。
11月	リサイクルをしよう② 本単元	・車いすまであとどのくらいか確かめる。
12月	クリスマス会に行こう	・クリスマスツリーのかざりをつくる。
1月	リサイクルをしよう③	・いろいろな再利用のしかたを工夫する。
2月	リサイクルをしよう④	・再利用を習慣化する。
3月	新年度の準備をしよう	・来年度の教室づくりをする。

#### 5 本時の指導

##### (1) 本時の指導にあたって

これまで生活単元学習の時間だけでなく学級活動の時間も使ってリサイクル活動を続けてきた。本時は、その目的を再確認し、さらに、意欲を持って取り組めるようにしたい。また、全校で取り組んで、一つの大きなことを達成しようとしていることに気づいてほしい。

そして、車いすの買い物のイメージ体験をし、いろいろな計算のしかたを使えるようにしたい。

##### (2) ねらい

- ・アルミ缶を正確に数えることができる。重さの単位がわかる。電卓で計算できる。  
今度のアルミ缶回収日に、意欲的に生徒昇降口に運ぼうとすることができる。(M君)
- ・棒グラフを書ける。電卓で計算できる。老人ホームで車いすが必要な人のことを考えて、自分の考えを発表できる。(Mさん)
- ・8組の棒グラフから今までのアルミ缶の重量を読みとれる。また、全校で集まったアルミ缶を金額に計算し、割引のある日の買い物のシミュレーションができる。(D君)
- ・アルミ缶とスチール缶の区別がつく。いくつかの日本語の単語を覚えるとともに、あいさつなどの言葉に慣れる。これからアルミ缶回収に協力しようという気持ちを持てる。(A君)

##### (3) 生徒の期待する姿とその手立て

生徒	学年	期待する姿	手立て
M君	2年	・アルミ缶を正確に50本まとめることができる。 ・電卓で計算できる。	・アルミ缶を10本ずつ並べて確認してから袋に入れるように助言する。 ・プリントに式を書いて計算する。
Mさん	2年	・正しいグラフが書ける。 ・自分の考えを発表する。	・たて軸、横軸を確認して、点で印をつけてから線を引くよう助言する。 ・選択肢を用意する。
D君	3年	・自分たちが集めたアルミ缶の重量	・1袋50本が約1キログラムである

		<p>をグラフから読み取れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単価の意味を理解し、現在までのアルミ缶を金額にするといくらになるか計算できる。</li> </ul>	<p>ことがわかりやすく視覚に表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電卓を用意する。</li> </ul>
A君	3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ言葉に慣れる。</li> <li>・「アルミ缶」がわかる。</li> <li>・一緒に作業ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャイムが鳴ったら起立し、あいさつをする。</li> <li>・アルミ缶のマークや、アルミ缶とスチール缶の違いをマグネットやマークで確認する。</li> </ul>

#### (4) 本時の展開

・	学習内容・活動	指導上の留意点および支援	準備等
導入 10分	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 あいさつをする。</li> <li>2 学習内容を確認する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャイムが鳴ったら起立し、あいさつをする。</li> <li>・アルミ缶のリサイクルの目的を再確認し、あとのくらいで車いすが買えるのかを考えることを確認する。</li> </ul> <p style="text-align: center;">アルミ缶を車いすにしよう</p>	車いすの絵
展開 30分	<ol style="list-style-type: none"> <li>3 アルミ缶とスチール缶のちがいを確認する。</li> <li>4 アルミ缶を50本数える。</li> <li>5 集めたアルミ缶のグラフを書き足す。</li> <li>6 集めたアルミ缶の重さを計算する。</li> <li>7 いくらになるか計算する。</li> <li>8 車いすの値段と比較する。</li> <li>9 全校でのアルミ缶はいくらになるかを計算する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マークの違いやマグネットにつくつかつかないかの違いを見せる。</li> <li>・10本ずつ並べながら、数えるように助言する。</li> <li>・たて軸の単位を確認する。</li> <li>・全部で何本か確かめる。</li> <li>・重さの単位を確認する。</li> <li>・全部で何キログラムか確かめる。</li> <li>・単価を調べて伝え、換金するといくらかを見せる。</li> <li>・一般的な車いすの絵と値段を提示する。</li> <li>・電卓を用意する。</li> <li>・換金するといくらになるかを見せる。</li> </ul>	アルミ缶 スチール缶 マグネット袋  グラフ用紙 定規 ペン  計算書 お金カード 車いすの絵  生徒会のグラフ お金カード
まとめ 10分	<ol style="list-style-type: none"> <li>10 車いすが買えるか確かめる。</li> <li>11 どんな車いすを贈りたいか自分の考えを言う。</li> <li>12 あいさつをする。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな車いすの写真と値段を見せる。</li> <li>・どんな理由でどんな車いすを贈りたいかを聞く。</li> <li>・あいさつをする人の方を向いてあいさつするように声をかける。</li> </ul>	車いすの写真と値段